



2016年1月21日 第2222回例会
1月第3例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「職業奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



皆さんこんにちは。本日は、第2222回という切りの良い節目の例会日となっています。

一昨日の1月19日、チサンホテル広島に於いて「新会員を囲む懇談会」が開催され、

推薦者、関係委員会のメンバーはじめ36名の方々に出席頂き親しく懇親をはかることができました。お世話頂きました上田副会長、斉藤ロータリー情報委員長はじめ関係委員会の皆さまありがとうございました。

本日は、少しやわらかい話で日本の「ロータリーソング」についてご紹介したいと思います。

ロータリーに於いて歌を歌うことが始まったのは、1905年にシカゴロータリークラブが創立された直後であり、同クラブ5人目の会員である印刷業のハリー・ラグラスの音頭によりクラブの例会で歌われるようになりました。

日本最初のロータリークラブは、1920年（大正9年）創立の東京ロータリークラブですが、初めの頃は英語のまま歌われていました。やがて日本語によるロータリーソングを求める声が高まり、1935年（昭和10年）に日本語の歌が生まれることとなります。即ち、昭和10年5月5日、京都朝日会館で地区大会が開かれた際、日本語のロータリーソングのコンテストが行われ、次のような入選作が発表されました。

第1位 「旅は道連れ世は情け、
情けは人のためならず」

第2位 「奉仕の理想」

第3位 「平和を人の世に植え、
親愛の心はぐくむ」

第4位 「我らの生業様々なれど」

但し、第1位の歌は、後に著作権侵害の事実が出て、ロータリーでは歌わなくなりました。

その後1951年（昭和26年）にロータリーソングが募集され「手に手つないで」が生まれました。これは、1952年（昭和27年）7月から、日本のロータリーが東日本と西日本の2つの地区に分かれるという事態に当たり、これからも友情を確かめ合い、手に手つないでいこうと誓い合ってきた歌だそうです。また「それでこそロータリー」も1953年（昭和28年）に誕生しています。

● 会務報告 梶本幹事

※他クラブ例会臨時変更

2月8日(月) 広島廿日市RC 職場訪問例会に変更

※例会終了後、3階「カトレア」において第5回クラブ協議会を開催いたしますので、理事役員及び各委員長は出席願います。

※ウィルスメールにご注意ください。（最近ウィルスに感染するケースが多いので、メールを充分確認の上、開封してください）

● 第9回臨時理事会

承認事項

荒谷壽一君の休会について
広島西ロータリークラブ定款9条第3節 (a)
理事会の承認する条件と事情による欠席
病気療養のため1月28日より約2ヶ月間休会

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 浜田委員

本日 (1月21日・木曜日)
会員数 83名 出席者 72名
欠席者 11名 ご来客 1名
ご来賓 0名 ゲスト 0名
計 73名
前々回 (1月7日・木曜日)
出席率 100%



※ 職業奉仕委員会 松岡(輝)委員長

次週卓話時間15分延長について

※ 青少年・インタラクティブ委員会 堀江副委員長

インタラクティブクラブ卒業生への表彰状贈呈を明日行ないます。委員会メンバーは15時45分鈴峯高校にご集合願います。

※ 会報雑誌・広報委員会 松田委員長

週報2240号及び2244号について「米山記念奨学会 米山功労者感謝状」と記載すべきところ「米山奨学委員会 米山功労者感謝状」と誤って記載されておりますので、訂正いたします。

※ ロータリー情報委員会 斉藤委員長

次年度RIテーマ

米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、18日、ジョン F ジャーム会長エレクト (米国テネシー州、チャガヌーガ・ロータリークラブ所属) が講演し、次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表しました。(2016-17年度テーマ講演の内容はwebサイトを参照下さい。)

※ 次年度新原幹事

次年度委員会配属表の配布について

● 会員記念日

🗓️ ご入会記念月おめでとうございます。

(6名)

坂田君 (S 59年) 荒谷君 (H 3年)
井原君 (H 4年) 加藤君 (H19年)
中山君 (H23年) 片山(恵)君 (H24年)

🌸 創業月おめでとうございます。

(5名)

佐久間君 戸田建設(株)広島支店
荒谷君 荒谷建設コンサルタント(株)
児玉君 (医・社)仁和会 児玉病院
篁君 (学)至徳学園至徳ルンビニー幼稚園
小田君 広島総合法律会計事務所

● スマイルボックス

SAA 大植委員長

😊 山縣君 (自主申告・大枚)

昨年12月25日より、有限会社から株式会社ニシヒロへと組織変更いたしました。また1月の竣工とともに、本社屋を西区南観音8丁目へ移転させ、何とか業務のスタートを切ることができました。こちらは中山さんの隣になります。

小規模の会社ですが、ロータリーを続けていけるよう頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。

😊 木本君 (自主申告・トリプル)

第71回国民体育大会冬季大会

アイスホッケー競技会競技副委員長として第71回国民体育大会会長 張 富士夫 様から委嘱され盛岡国体に役員として参加いたします。

😊 大植君 (自主申告・トリプル)

昨年末、内視鏡手術で、約5mmの大腸ポリープを切除する手術を受けました。悪性の可能性は5%程度ということでしたが、組織検査の結果が出るまでの数日間は心穏やかでなく、日頃の行いの悪さを悔いる毎日でした。結果は、お蔭様で良性でした。これで除去した大腸ポリープが通算3個目になったので、その1つ1つに感謝の気持ちを込めて、トリプルを出宝させて頂きます。

😊 今日には2222回。前の1111回は多分平成5年、この次の3333回は平成50年に来ると思われま

す。このおめでたい回数にちなみ、誕生日が昭和22年の古屋さん、川西さん、堀江さん、笹野さん、22日生まれの林田さん、ご出宝宜しくお願ひ致します。皆さんのご多幸を祈念しております。

😊 SAA委員会からのクイズ

SAA委員会からのお年玉クイズの当選者を発表します。皆さん、分かりましたか。苗字の総字画数順でした。正解者はいらっしやいませんでしたが、委員会が評価した答えということで、当選者は、松岡(輝)さんになりました。おめでとうございます。

■ 卓 話

年 男 放 談



2016 年年男放談

小田 清和君

今年は申年ですが、私は昭和31年生まれですので、還暦となります。ただ、自分が還暦を迎えるという実感は全くありません。恐らく還暦を迎えられた多くの方は、「六〇にして耳に順う」という状態になっておられると思うのですが、私は、まだ修行が足りなくて、その境地に至っていないと感じているからだろうと思います。

さて、これから自分がどのように生きていけば良いのかと言うことを考えてはいるのですが、その前に昭和31年がどのような年であったのかを大雑把に振り返りたいと思います。私は、職業分類が民事弁護となっておりますので、主に法律の関係を見ます。

経済的には戦後復興期が終わり高度成長第一期に入った時期のようですが、法律の方も、日本原子力研究法や原子燃料公社法が制定され、原子力研究所が設置されて、今日の原子力研究の基盤が整えられたようです。更に、首都圏整備法が制定され、わが国の政治、経済、文化等の中心としてふさわしい首都圏の建設とその秩序ある発展を図

ることが目的とされました。

また、この年、社会評論家の大宅壮一氏が生み出した「一億総白痴化」という言葉が流行語としてはやったそうです。これは、「テレビというメディアは非常に低俗なものであり、テレビばかり見ていると、人間の想像力や思考力を低下させてしまう」という意味が込められていると言うことのようにです。

このように昭和31年は、国内的には徐々に発展し、法律による規制と調整が進められるようになり、また、書籍よりも放送番組に関心が高まるようになり、国際的にも活動が活発になっていく時期のようです。

ところで、最近の国内を見ると、原発問題が大きく論じられ、安全性について疑問が出され、これまでのような勢いで原子力利用の推進に歯止めが掛かっています。また、「地方創世担当大臣」が置かれ、東京一極集中の見直しによる地方のあり方が問われ、更に、「一億総白痴化」ならぬ「一億総活躍社会」の実現が目標とされています。その他、テレビの放送からパソコンや携帯電話などによる情報提供時代に移行しております。ただ、情報の信頼性に相当程度注意しないと誤った判断をする危険性が高まっていることにも思いをいたす必要があるように思います。

こうした状況の中で還暦を迎えており、自分自身は高齢化社会の推進要因であるわけで、また、人口増加に寄与できる年齢でもないし、そんな私に何が出来るのかを思いをめぐらせてみました。

私が、55歳の時ですが、一般社団法人広島後見制度支援センターを、平成24年2月立ち上げ、その時から、法人として後見人に就任し、活動を始めました。現時点では、登録されている専門職は、合計60名が社員登録して後見業務に従事しています。

センター自体、まだまだ緒に就いたばかりで、皆さんが業務しやすい体制を整えたり、現在のマニュアルや書式の改善が必要で、それらのことをやっていかなければならない状態です。このセンターの活動への何らかの立場での関与は、恐らく一生続けることになるだろうと思っておりますが、ただ、弁護士としての業務ではありますが、事務所としての中心業務ではないので、思うように時

間が割けないのが悩みではあります。

ところで、私にとっての天命は、センターでの活動なのか、弁護士としての活動なのか、或いは別にあるのか、未だにわかっておらず、いつかは、天命を知りたいと思っています。

また、60歳の時に、耳に順うという状況になっていないのは、最初に申し上げたところで、これも何時になったらそういった状態になれるのか、心許ないところです。また、七〇にして、心の欲するところに従えどものをこえずというのは、どんなに長生きできても無理だなと思い、考えないことが今の私には最善かなと思っています。

やはり、聖人にはかなわないと思いながら、ただ少しでも天命を知り、耳に順う状態に近づけるように努力することを今年の目標にしたいと決意し、私の放談とします。



年男放談

井下 健君

特に成長したと感じるところがないまま還暦を迎え、皆様の前に立って私がお話するという事になったのですが、何か気恥ずかしい感じしております。

昭和31年10月31日(水)に兵庫県尼崎市で生まれました。父親が日新製鋼尼崎製鉄所に勤務していたので、住まいは長屋のような社宅でした。その長屋の中で一番年上だったのでそこではガキ大将で通っていましたが、それは小学校1年生までのことで、父親が日新製鋼所呉製鋼所に転勤となったため引越し。

大阪弁丸出しの私は広島弁がなかなか話せず、おとなしい子供になってしまいました。一人で遊ぶことが多くなり、夏休みは毎日小学校のプールに行き、泳ぎの上手な人をまねて朝から夕方ま

で泳いでおりました。そんな夏休みを小学校4年生まで続けていたので、6年生を含めた全校生徒の記録会で一番早いスイマーになっていました。周りからすごいすごいともてはやされ、周りの人にオリンピックで金メダルを取りたいと言いふらすお調子者になっていました。

ところが、抽選に当たったとかで、5年生の夏休み前に呉の焼山に引っ越すことになりました。当たった家を見に行つたついでに、転校先の昭和西小学校に行ってみるとびっくり、どこにもプールが見当たらない。金メダルの夢が消える・・・家は引っ越したのですが転校せず、広の白岳小学校まで遠距離通学を断行しましたが、呉市の水泳大会で1位の選手との力の差を知り挫折、遠距離通学は止めてあっさり転校しました。

中学になって卓球部に入部しましたが、練習場を建て替えることになり部活停止。暇を持て余した私は、顧問が部活に顔を出さず、遊び場状態になっていた軟式庭球部が楽しそうなので入部。ところが2年の新学期に呉で一番強豪であった中学校の先生が転任してきて一転、テニスコートは修羅場となりました。

卒業する頃にはすっかりテニス馬鹿になっており、呉宮原高校の入学式の日軟式庭球部に入部。練習はスーパーハードで厳しい先輩方に毎日しごかれました。

もう10年位、70歳までテニスが続けられたらいいなと思っています。ロータリアンも。

● 卓話予告

日時	テ	マ
2/4(木)	新会員卓話	佐久間君、山縣君

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 金本 善行
幹 事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索